

院生研究会

2017年	1月30日	大木 麻由佳	日本におけるハーブ利用の経緯と今後の展望曰健康維持を目指した若者への普及の可能性を探るー
		川上 彩華	サッチャー政権のネオリベラル教育政策による社会的排除とその克服
	7月25日	大木 麻由佳	日本におけるハーブの普及経緯と今後の展望
		川上 彩華	サッチャー政権のネオリベラル政策と教育
2016年	1月23日	大木 麻由佳	日本における西洋ハーブの普及経緯と大学生の利用状況のアンケート
		川上 彩華	比較の中のサッチャリズム
		オルネド・ヘルス・アロエ・ロシア	近代日本文学とスペイン語圏における〈変身〉の隠喩ー安部公房とフリオ・コルタサルと比較研究ー
	7月19日	大木 麻由佳	日本における自然医療の普及の経緯
		川上 彩華	サッチャリズムと社会福祉
オルネド・ヘルス・アロエ・ロシア	近代日本文学とスペイン語圏における〈変身〉の隠喩		
2015年	5月13日	渡辺 野乃花	ドイツにおける原子力及びエネルギー問題に関する社会的議論の展開
		朴 ハンナ	買い物難民現象から見る団地の諸問題
2014年	7月12日	大泉 文	欧州におけるエネルギー政策と外交～LNGを中心に～
		オルネド・ヘルス・アロエ・ロシア	フリオ・コルタサルと安部公房の比較研究 短編における「アイデンティティ喪失」の隠喩
		山本 光	国際機関における政策履行と多角的監視メカニズム ～OECDにおけるピア・レビューを中心に
		朴 ハンナ	横浜市における買い物弱者支援の現状と高齢者に優しいまちづくりの提案
2013年	12月13日	大泉 文	EUのエネルギー政策
		オルネド・ヘルス・アロエ・ロシア	三人の短編作家の巨匠 フリオ・コルタサル、安部公房と星新一 比較研究
		山本 光	OECDの社会政策と福祉国家
		朴 ハンナ	団地における高齢者生活に関して～買い物難民問題を中心に
	7月12日	草島 豊	共通番号制度が人間関係に及ぼす影響のサブシステム論による考察
		加藤 郁子	フェ・イ・アレグリアによるボリビアへの教育支援についての考察ーサンタ・クルスの寄宿生女子職業学校を事例としてー
遠藤 美華子	フラメンコの反逆		
2012年	12月14日	遠藤 美華子	観光資源としてのフラメンコ
		加藤 郁子	ボリビアとイエズス会の教育
	6月9日	草島 豊	人間関係の危機考察における3アプローチ(人権、平和学、サブシステム論)の比較検討
		渡辺 二葉	デートDVとDV防止法
2011年	7月16日	渡辺 二葉	DVに関する一考察
		斉藤 悠美子	日本の子育て政策に内在するジェンダーセグリゲーション
		原田 美咲	マイノリティと日常の社会関係
2010年	12月11日	渡辺 二葉	DVに関する一考察
		原田 美咲	マイノリティとコミュニケーション
		勅使川原 香世子	地域医療アクセスとグローバリゼーション曰フィリピンの農村地域を事例としてー
	7月3日	曹 エイ	中国国有企業改革による雇用及び社会保障問題
		斉藤 悠美子	男性保育士の存在意義～性別役割分業の観点から～
		吉岡 安貴子	思春期ピアカウンセリングの実情と課題
登石 優子	環境政策と市民社会のかかわり		
勅使川原 香世子	「中間報告」地域医療アクセスとグローバリゼーションーフィリピンの農村地域を事例としてー		
2009年	1月9日	曹 エイ	中国国有企業改革による雇用及び社会保障問題
		吉岡 安貴子	日本における思春期ピアカウンセリングの実情と課題
	7月25日	土井 幸江	クリーン開発メカニズム(CDM)と途上国の持続可能な発展
		井上 愛美	日本軍「慰安婦」問題の政治的プロセス
斉藤 悠美子	日本の婚姻制度における女性の社会的法的地位		
2008年	1月10日	井上 愛美	慰安婦問題の法的プロセス
		斉藤 悠美子	日本の婚姻制度と「近代家族」に関する一考察
	7月19日	大野 めぐみ	中国の砂漠化における環境整備の実態と日本の支援
		テイキ	中国の東アジアにおけるFTA戦略～中国の対外直接投資の視点から～
土井 幸江	クリーン開発メカニズム(CDM)と持続可能な発展		

2003年	7月26日	堀場 幸子	グローバル化と日本の中小企業—ミクロ的視点の導入 (書評) 文献関満博『現場発ニッポン空洞化を超えて』日本経済新聞社、2003年
		榎本 春子	「国連NGO国内婦人委員会」についての一考察
	8月2日	市橋 亮子	消費主義という文化イデオロギー (書評) 文献 L. スクレアー著、野沢慎司訳『グローバル・システムの社会学』玉川大学 出版部、1995年〔原著1990年〕
		石垣 里枝子	ヘッジ・スクール(hedge school)をどう捉えるか—アイルランド民衆教育への一考察
		岩崎 仁美	女性に対する暴力について—DV, ストーカー加害者の特性から暴力根絶を考える